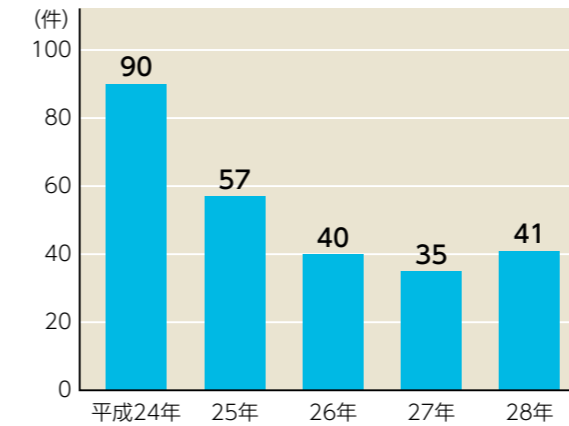


増えています 市内の空き巣被害

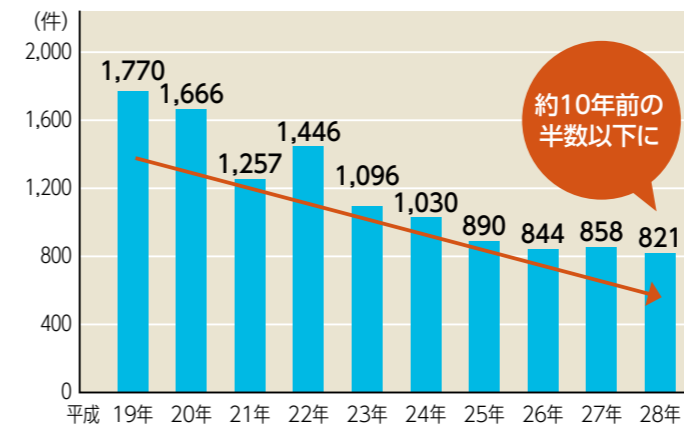
平成28年の発生件数は41件。減少傾向にあった市内の空き巣発生件数は、27年から6件増加しました。

住宅1階のガラス窓から侵入された被害が最も多く、玄関ドアがこじ開けられたケースやインターフォンで留守を確認した上で侵入されたケースもあります。また、被害は午後に集中しています。

市内の空き巣発生件数



市内の窃盗犯罪件数



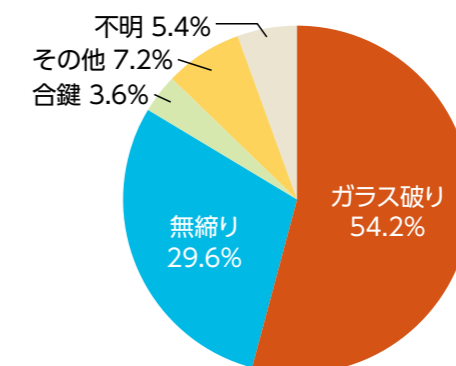
窃盗犯罪件数は10年前の半分に減少

空き巣をはじめ、万引きやひたくり、自転車盗など、平成28年に市内で発生した窃盗犯罪全体の件数は821件。約10年前に比べて半数以下に減少しています。要因の一つには、防犯ボランティアの存在が考えられます。現在市内で活動しているのは69団体・7475人。市民の目や、防犯カメラの普及が犯罪減少につながっています。

侵入手段の1位 ガラス破り

県警のデータによると、ガラス破りによる侵入が最も多く、無締り(※)による被害も約3割に上っています。

手段別発生状況



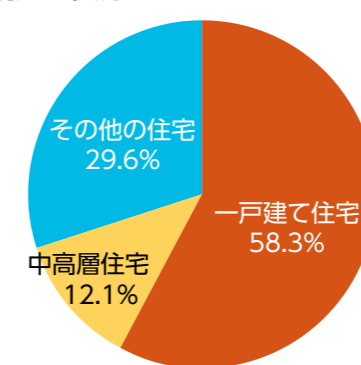
数値：神奈川県警察ホームページより

※：無施錠の窓などからの侵入

低層住宅で発生しやすい

空き巣の発生は1戸建て住宅が最も多く約6割、またアパートなど、その他の住宅も約3割を占めており、低層住宅で発生しやすい傾向にあります。

場所別発生状況



数値：神奈川県警察ホームページより

増加の一途をたどる 振り込め詐欺

平成28年中の市内の発生件数は17件、被害額は約4100万円となっております。なお、同年度の県内の発生件数は1285件、被害額は40億8670万円でした。「えびなメール」や「防災行政無線」などでお知らせをする日は、犯人からの電話が特に多い日です。市役所職員をかたり、ATMで医療費の還付金を受け取るようにと電話があったら、それは詐欺です。ATMで還付金の手続きはできません。不審な電話でお金の話がでたら、振り込め詐欺を疑い、すぐに家族や警察に相談してください。



留守番電話機能がある場合は設定しましょう



「オレ、オレだよ」と電話がかかってきたら息子や孫にかけなおして事実確認をしましょう



家族だけの合言葉を決めましょう



知らない人がお金を取りに来ても絶対に渡さないようにしましょう

